

| | |
|---|--|
| 1 学校教育目標 基礎学力を身につけた、心身ともに健康で、思いやりのある児童の育成 | 2 本年度の重点目標 ①基礎・基本の確実な定着と学力の向上 ②家庭との連携を強化して、基本的な学習習慣と生活習慣の定着をめざす ③校内研究の充実と教師の資質向上 |
|---|--|

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

| 3 目標・評価 | | | | | | |
|-----------------------------------|--------------------|---|--|---|-------------|-----|
| ①基礎・基本の確実な定着と学力の向上 | | | | | | |
| 領域 | 評価項目 | 評価の観点 (具体的評価項目) | 具体的目標 | 具体的方策 | 担当分掌(部) | 担当者 |
| 学校運営 | ○学校・学級経営の充実 | 学校教育目標の具現化 | ・「学校教育目標、重点目標」を全職員が共通理解し、周知に向けて児童や保護者、地域への働きかけを充実させ、認知度を90%以上にする。 | ・学校教育目標を学校通信やホームページ、PTA総会、学級懇談会など様々な機会を利用して発信する。 ・学校目標達成への職員の意識向上を図り、学級や3部会、各校務分掌でPDCAサイクルによる取組を行う。 | 教頭 3部長 | |
| 教育活動 | ●学力の向上 | 基礎・基本の徹底 読書指導の充実 | ・児童の意識調査等で、学校の勉強について「分かる」「楽しい」と答える割合を昨年度より高める。 ・図書館利用を推進し、児童の意欲を向上させて貸出冊数を昨年度以上にする。 | ・PDCAサイクルによりスキルタイムの内容を充実させ、基礎・基本を定着させる。 ・読書活動や読み聞かせなど、読書意欲の向上を図るための取組を職員が共通理解して進める。 ・学力向上コーディネーターと担任の情報共有の場を定期的に設定する。 | 学び | |
| ②家庭との連携を強化して、基本的な学習習慣と生活習慣の定着をめざす | | | | | | |
| 領域 | 評価項目 | 評価の観点 (具体的評価項目) | 具体的目標 | 具体的方策 | 担当分掌(部) | 担当者 |
| 教育活動 | ○生徒指導 | 指導体制の充実と推進 教育相談活動の充実 | ・年間を通じた「立腰指導」の徹底を図る。 ・生徒指導及び教育相談活動の充実に向けて、本校の体制を見直し、全職員で取り組む。 ・保護者と連携した基本的な生活習慣の定着を図る。 | ・全校、学年・学級での「立腰指導」の徹底を継続する。 ・生徒指導主任、養護教諭、担任、管理職等による生徒指導・教育相談体制の見直し、充実を図る。 ・教育相談週間を設け、児童の心の悩みについて、早期発見・早期解決を図る。 ・「生活アンケート」を行い、基本的な生活習慣・学習習慣の改善に取り組む。 | 体づくり 心教育 | |
| 教育活動 | ●健康・体づくり | 望ましい生活習慣の形成 | ・健康で衛生的な生活、基本的な生活習慣の定着を図る。 ・朝食を取る児童の割合を昨年度以上に高める。 | ・学期に1～2回「清潔・生活チェック週間」を設定し、各学級で毎日チェックを行い、児童の意識付けを図る。 ・家庭での生活習慣の改善について、通信やアンケート結果を通して保護者への啓発を行い、課題のある児童の保護者には個別に話をして理解を求めるとともに、自分の活動を振り返る時間を設ける。 | 体づくり | |
| ③校内研究の充実と教師の資質向上 | | | | | | |
| 領域 | 評価項目 | 評価の観点 (具体的評価項目) | 具体的目標 | 具体的方策 | 担当分掌(部) | 担当者 |
| 教育活動 | ○校内研究の充実 | 子ども主体の授業の実践 授業力の向上 | ・全校的に統一した授業スタイル「南川副小型授業」を実施し、課題解決に向けて努力を惜しまない児童の割合を80%以上にする。 ・授業研究会の充実を図り、指導方法について研修を深める。 | ・系統性をもたせた学び合い活動を行い、「南川副小型授業」を充実させる。 ・日々の授業内容や指導方法について、学年を問わず職員間で相談や助言を行ったり、指導方法を学んだりすることができるように研修会を開催する。 | 学び | |
| 学校運営 | ○教職員の資質向上 | 研修の充実 | ・校内研修を充実させ、教職員の授業力、服務意識、学校運営参画意識の向上を図る。 | ・3部会や担当者中心に学校の課題や服務についての研修を計画・実施する。 ・職員の意識を高めるために、振り返りや見直しを定期的に行い、職員が日常的に意識できるような環境・研修会を設ける。 | 研修 | |
| 本年度の重点目標に含まれない共通評価項目(あれば記入) | | | | | | |
| 領域 | 評価項目 | 評価の観点 (具体的評価項目) | 具体的目標 | 具体的方策 | 担当分掌(部) | 担当者 |
| 教育活動 | ●心の教育 | 人権教育、道徳教育の充実 | ・人権意識や思いやりの心を育むための場や機会の設定、指導の工夫を行い、人権意識を高める。 ・年間指導計画に基づいた情報モラル教育を行い、知識の向上を目指す。 | ・地域と連携した活動や体験活動を多く取り入れ、「学んだことを実生活につなぐ」学習を通して豊かな心を育む。 ・特別の教科道徳や学級活動等で、発達段階に応じた情報モラルに関する教育を行う。 | 心教育 | |
| 教育活動 | ●いじめ問題への対応 | 早期発見、早期対応体制の充実 | ・本校の学校いじめ防止基本方針を見直し、いじめの覚知・認知に対する対応の迅速化を図る。 | ・いじめ・いのちを考える日(毎月1日)に「いじめアンケート」を実施し、結果についての情報を全職員で共有して早期発見に努め、学校全体でいじめ防止に取り組む。 ・連携会議、ケース会議で情報を共有し、全職員で対応できる環境を整える。 | 心教育 | |
| 教育活動 | ●志を高める教育 | 課題解決に向けて、自分の夢に向かって努力を惜しまずに取り組もうとする児童の育成 | ・課題解決に向けて、また、自分の夢に向かって努力を惜しまずに取り組もうとする児童を80%以上にする。 | ・全教科・領域、特別活動等において、課題解決のための見通しをもたせて取り組ませるとともに、自分の活動を振り返る時間を設ける。 | 教務 学年 | |
| 学校運営 | ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | 校務等の効率化の推進 | ・各分掌間の連携及び情報共有を図る。 ・時間効率や教育的意義を考慮して業務の見直しを行い、スリム化する。 | ・各分掌が情報共有し、利用しやすいように共有フォルダを整理して効率化を図る。 ・行事の見直しを進めるとともに、時間対効果を考えた業務遂行に努める。 | 教頭 3部長 | |